

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <https://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

5

May, 2019

vol. 420

Contents

建築探訪...01

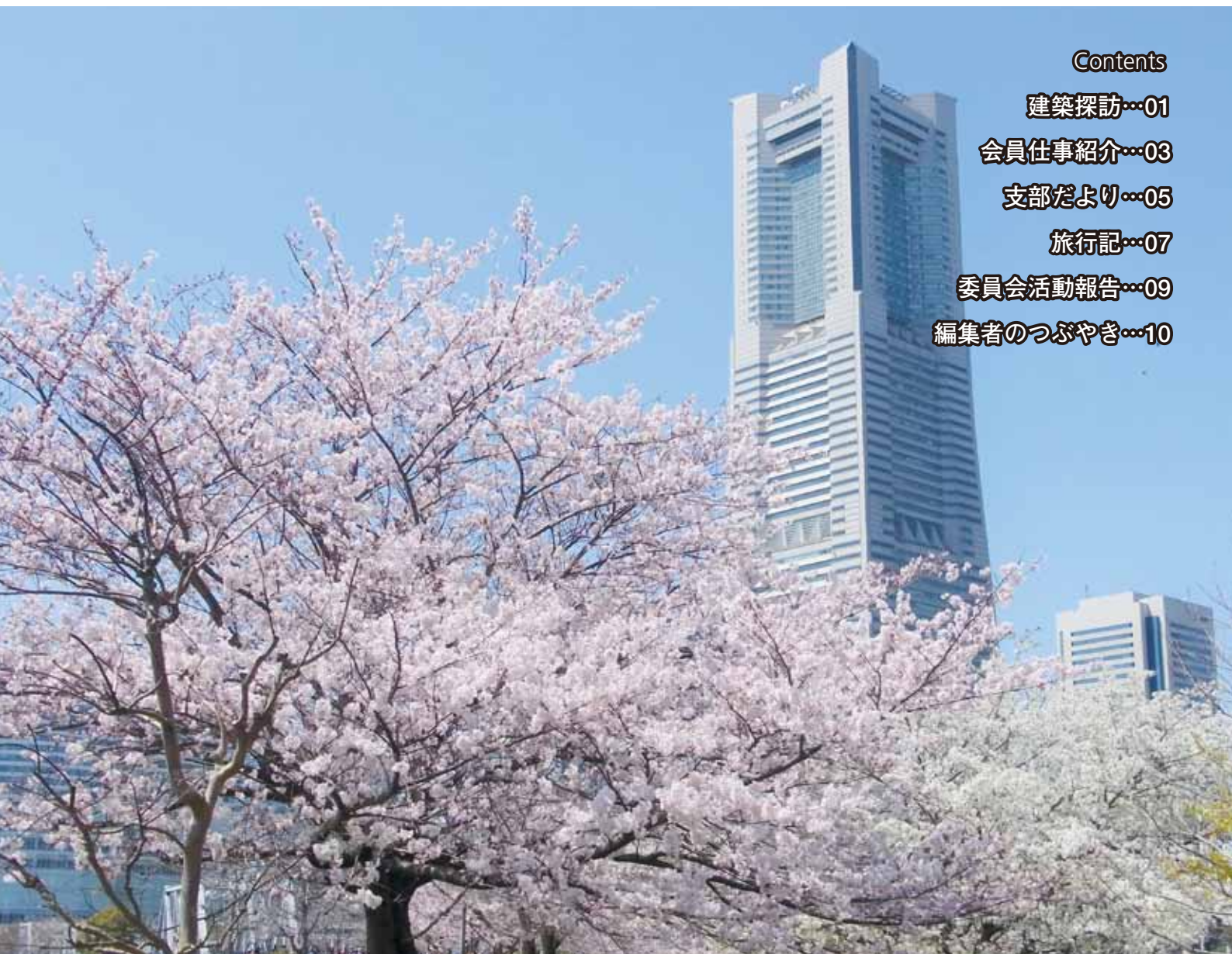
会員仕事紹介...03

支部だより...05

旅行記...07

委員会活動報告...09

編集者のつぶやき...10



支部研修旅行「伊豆」

株式会社アトリエ七——級建築士事務所 倉田 充

前日までのどんよりとした天気が嘘のように回復し絶好の建築探訪日和、総勢14名で川崎駅からチャーターバスにて伊豆方面へ向かいました。

まず目指したのは神奈川県の実鶴からほど近い小田原江之浦にある「江之浦測候所」。世界的写真家で芸術家でもある杉本博司が、建築・彫刻・歴史的造作物を大地に刻み込んだ芸術空間で2017年にオープン。急峻な箱根外輪山を背にして相模湾を望む立地を生かし超絶景を創り出しています。左側の建物は「夏至光遙拝100メートルギャラリー」海拔100メートル地点に建つ長さ100メートルの展示空間。内部は粗い大谷石の壁にゆったりとした作品展示、対面は全面ガラスで屋外的な解放感です。ギャラリーの最先端は海に向かって跳ね出したバルコニーで相模湾のパノラマビュー。ギャラリー右側の四半貼床タイルの屋外通路は真っすぐ海へ向かい水平線に吸い込まれそうな迫力、建築前から自生している桜の巨木も満開で修景に大いに貢献しています。

1



江之浦測候所

続いて訪れたのは三島スカイウォーク。観光用の歩行者専用つり橋で長さ400m、高さは70mあり施設と合わせて40億円かけて2015年に完成。雄大な富士山を正面に臨み視線を移すと駿河湾と三島の街並みが遠く銀色に輝いて見えます。強固そうに見える橋梁も床は一部グレーチングで中央近くまで歩くと相当揺れ、身がすくんでしゃがみこんでしまう人もいるほど恐怖感があります。それでも人気のスポットらしく、橋は人が数珠つなぎで

駐車場も車でいっぱい、拡張工事をしているようでした。伊豆縦貫道の開通で地元三島が通過点になってしまう事を危惧して造った集客施策は意外にも上手くいっているようです。



三島スカイウォーク

今回の宿泊施設に併設されたワイナリー。カラオケ大手のシダックスが運営、品種ごとにエリア分けされた広大なワイン畑の奥にシャトーと言われるレストラン・ショップを併設したワイナリー建物。ワインセラーにはオーナーがオークションで落札した8本で1,000万円というヴィンテージワインの展示もありため息が出ましたが、「買えますか？」の質問にスタッフは「飲んだらおなかをこわします。」との事でした。



中伊豆ワイナリーヒル

2日目最初の訪問地は松崎にある伊豆の長八美術館。石山修武の設計で1984年の開館。バブル建築のその後、建築的価値の検証の意味も含めて今回の目的地となりました。「汚れて見る影もないのでは？」の予想に反して建物はよく手入れされていて30年前の記憶が鮮やかによみがえりました。が、さすがに当時の「歴史を継承した斬新な建物に触れる感動」のようなものではありませんでした。当時なまこ壁は一躍有名になりましたが、周辺を散策するとこの建築をきっかけに町では歴史的建物の保存や伝統的左官技術の継承に力を入れるようになったのではないかと感じる風景を目にし、こちらの意義の方が大きいように思いました。



伊豆の長八美術館

次は伊豆・三津シーパラダイス。1930年に開業した歴史的水族館を、清家清の設計で1977年に新装開業、賞も取っている建物ですが、全く知りませんでした。端正な建物を想像しながら向かいましたが、どちらかというとダイナミックな感じで当時はかなり斬新だったのではないかと思います。ファミリーが集客対象のため張り物の装飾が多く建築景観的には鑑賞しづらいところもありましたが、レベルを重層に引き回した動線計画など、なるほどと感心するところもありました。



伊豆・三津シーパラダイス

今回の旅は新元号発表の日と重なり、伊豆山中のバスで迎える事になりました。11時30分頃の発表をサロンバスのテレビに皆で注目しましたが、山中の電波状況で画面が映ったり止まったり、結局11時40分頃「令和」の発表時にテレビ画面は停止、スマホで確認の方が先となりました。が大いに盛り上がり記憶に残る旅となりました。



江之浦測候所にて

私の建築士の仕事の根っこ

株式会社秋山設計 秋山 開次郎

昭和45年(1970年)に創業した弊社は、来年で50周年となります。創業者である私の父は、土地家屋調査士であり、測量士であり、建築士でした。そのため造成等の設計を行う開発設計部のほかに、測量部、建築設計部と3部門を柱にこれまで仕事をしてまいりました。兄へ代替わりした現在でも一級建築士が4名、二級建築士が6名、測量士が7名在籍して活躍しております。その中で建築設計部として思い出深い仕事をさせて頂いた幼稚園型認定こども園について少しご紹介させて頂ければと思います。

スタートは建替えを考えている幼稚園から、設計コンペの参加要請が来ました。これまでも様々な相談を受けていたことから、必然的に参加させて頂き、偶然にも？当選することが出来ました。その後に聞かせて頂いたのですが、「御社がコンペに提出された図面から、強い熱意が伝わった」と理事長よりお言葉を頂き、非常にうれしかった事を覚えています。

またそのコンペに参加させて頂くため、既存の建替え前の幼稚園を見学させて頂いた時に、私達はキリンのマスコットが実に気に入りまして。いたるところに描かれていたり、ぬいぐるみが飾ってあったり。そのためコンペ案には「キリン広

場」と名付けた天井の高いホールを用意しました。それを見た理事長は、「キリンなど日常のことで今まで何も意識していなかった。言われてみれば先代の理事長が気に入って取り入れていたもののよう。建て替えとは、単に古い物を壊し、新しくすることだけではなく、古き物を見つめ直し、歴史を改めて考えることなのだと気が付いた」とお話下さいました。このお言葉は、後の私の設計という仕事に対する姿勢というか、信念というか、根っここの部分を形成したものとなり、うれしさと同時に設計という仕事の奥行に対して身が引き締まる思いでした。

実施設計も終了し、入札により落札した施工業者の工事も順調に進みました。定点から記録写真を撮影し、熱心に工事進捗状況を記録していた主任保育士さんから、勤労感謝の日に、思いがけないプレゼントを頂きました。なんとその幼稚園に通う園児達から似顔絵付きのメッセージボードを頂いたのです。そこには、「あきやませっけいのみなさんへ、すてきなようちえんをかんがえてくれてありがとう」とありました。この仕事をやっていて本当に良かったなと思えたプレゼントであり、本当に素敵なものでした。それまでの苦労やうまくいかなかった事などすべて吹き飛びました。

なんだか設計の主旨や工事監理の具体的な仕事の紹介は全然出来ていないのですが、私にとってこの幼稚園型認定こども園の仕事は、何よりそういった意味では建築士としての心構えを教わり、難しさを教わり、また楽しさを教わり、やりがいを教わったものとなりました。今後も私は建築士の仕事を続けて行きたいと思っています。平成も終わり令和という新しい未来がやってきましたが、次の50年に向けて何が出来るかまた努力していこうと思っています。



勤労感謝の日に園児から頂いたプレゼント



外観西面完成写真



外観南西面完成写真



エントランスホール「キリン広場」



外観南東面完成写真



廊下・ホール「けんけんぱ」



メインエントランス廻り



屋上園庭

第2回建築しごと展 ～体験コーナー・セミナーの新企画～

副支部長 有限会社 相原聡建築設計事務所 相原 聡

去る3月16日(土)17日(日)に大和文化創造拠点「シリウス」1階ギャラリーで行なわれました。昨年より会場を2倍に拡大し①会員・賛助会員・一般公募の作品・製品の展示②木材、空間の体験コーナー③家造りセミナーの部門を催し建築士による住まいづくりのすばらしさを来場者にアピールしました。2日間で延160名の来場者があり、盛況のなか無事に展示会が終了しました。



☆端材を利用したマイ箸づくり体験

(株)青木工務店 提供

檜、台檜(たいひ)、ヒバ、杉、4種類の樹種の香りの違いを楽しみながら、箸に適する木材の抗菌性を感じてもらい、木造の住まいの快適性、健康性を来場者にアピールしました。子供はかんなを使う経験がなく、とまどうこともありましたが、会員の指導により上手に使うことができました。大人の来場者は夫婦で楽しむ方も多く、夫婦箸を持ち帰っていただきました。



☆組子細工ワークショップ

(株)青木工務店 提供

組子は住まい空間に障子や欄間で幾何学模様と光を表現する技法です。造りやすく加工された組子キットの制作を来場者に体験していただき、釘金物を使わず木を組む日本の伝統木造空間の美しさと強さの要素を理解していただきました。建具専門職人の指導により、大人から子供まで、家族づれで体験でき、特に女性に大人気でした。



☆VRバーチャル空間体験

(株)コイグチ 提供

最先端のプレゼンテーションシステムを子供から大人まで来場者に体験していただきました。ソフト(マイホームデザイナー)で作成した空間を実体験できるVRは会員にも大人気で新たな設計のシステムを認識できました。階段を上ったり、吹き抜けを見上げたり、キッチンに立ち、リビングとの距離を感じたりしながら夢を現実にするシステムです。

5



☆希望をかなえるリフォーム設計のすすめ

晶 設計室 提供

住まいの内装、設備のリフォームの方法について、希望をかなえ、新たな夢をかなえる提案を紹介しました。「猫が遊べるキャットウォークの仕掛け」「狭くても料理が広がるキッチン」「パティシエになれるキッチンの造り方」「洗濯が楽しくなる水廻りの造り方」など女性建築士の立場でのリフォーム設計の重要性を説きました。



☆大和綾瀬のわが家の地盤は大丈夫？

都市計画地盤研究会 提供

大和綾瀬の位置する地盤の相模原台地周辺の地形地質は、礫層とローム層で大変安定した安全な地盤である。相模原台地は、5万年前から相模川を中心に形成された海拔高度が高い河成段丘である。大和綾瀬が位置する地盤の安全性や歴史、形状を詳しく説きました。来場者はとても安心して、県央地域の住宅地の価値を再認識しました。



☆建築士が考える省エネな魔法のプラン

相原聡建築設計事務所 提供

建築士でなければ思いつかない
①省エネな断熱の方法
～内皮断熱による2重断熱の方法～
②省エネな木構造
～丈夫で長持ちメガ柱のある家～
③省エネに住まうリフォーム
～楽に住まえる終の棲家～
④省エネな収納～自然にかたづく
広いリビングの造り方～
魔法のプランを実作品を通じ説明しました。

建築しごと展（横浜）

藤井伸介建築設計室 藤井 伸介

今年の建築しごと展（横浜）は2月11日から2月17日にかけて、みなとみらいサブウェイギャラリーMで開催されました。昨年と比較して、展示パネルや模型の数等も増えて賑やかな展示風景になったように思います。

私自身は、2年前に事務所協会へ入会した事をきっかけに、昨年初めてしごと展にも参加させてもらいました。

昨年のしごと展終了後の反省会で、しごと展に参加する事の目的や誰を対象として展示しているのか曖昧になっている等の意見が出ていました。その数カ月後に実行委員の方から連絡をいただき、これまでのしごと展と大きく方向性を変えたいので実行委員として参加してもえないかと依頼がありました。

月一回の委員会で話し合いを進める中、しごと展に参加した設計事務所が、来場者に対してアピールする場だけでなく、建築を考えている人と出会える場を作ることが、参加者にとって意味のある事になり、会員増強にもつながるとい

う結論になりました。

そのためには、ただ単に通りすがりの人へアピールして来場者数を増やす事を目的にするのではなく、建築予定の人が設計事務所に気軽に相談できる場を作る事を目的とした広告づくりや会場配置等が必要だと考えました。

広告については、電車の中吊や駅構内のポスターを利用して、建築予定の人へ向けて発信したり、設計事務所の仕事を見ながら建築相談が出来る場所である事を伝えるための広告にしました。

また、ワークショップ「おりがみ建築」や福井通先生によるセミナー「ヴァナキュラーな建築」を企画して建築に興味がある人が集まれる工夫をしました。

結果、昨年より来場者数は増えたものの、まだまだ建築予定の来場者が少なく、たくさんの反省点を残す事となってしまいました。一方で、改善の余地もあり、参加意義のある充実したしごと展に向けて第一歩を踏み出したと感じています。

6



展示状況



ワークショップ



展示状況



建築セミナー

ドバイ・アブダビ建築ツアー記 ～海辺の砂漠に建つポピュリズムな実験都市を眺める。～

株式会社エス・デー・ジー（S・D・G）建築設計事務所
相原 俊弘

主催は私の母校東京都市大学建築学科OB会(如学会)で、現地工事に参加した大手建設会社コンサルタントが事前にかなり詳細な冊子を用意。29人が集まり、昨年10月18日～22日まで3泊5日の弾丸ツアーを行った。それもエミレーツ航空使用の往復羽田直行便+全行程添乗員付き貸し切りバス使用+全食事つきで25万円と安いのである。

1日目：18日夜11時過ぎに羽田を発ち、12時間後の19日朝にはドバイ国際空港第3ターミナルビルに着いた。これは設計がフランスの空港公団、施工が竹中工務店である。バスで市内に向かい最初に着いた場所は、アラビア湾に面したパブリックビーチに建つブルジェ・アル・アラブ。7つ星の高級ホテルで、ヨットの白い帆を連想させるテフロン膜で覆われ、客室には柔らかな光が入っている。



ブルジェ・アル・アラブ

次はモノレールに乗り、海岸の沖合に椰子の木が葉を広げた平面形を持つ人工島に向かった。集合住宅、高級住宅、商業施設を盛り込んだパームジュメイラである。こんな大規模な人口島を更にもう2つ造る予定だ。



パームジュメイラ

次にバスで向かったのは、現在ドバイで不動産開発が一番進んでいるマリーナ地区。まるで高層ビルの見本市みたいだ。その中でも目立つのは、平面を階ごとにねじり、最上階では90度回転させて立面がHPシェル状になっているカヤン・

タワーだ。アメリカのSOMが設計しているが、構造デザイナーの私から見て特に構造上有利なシステムではない。

次はバスタキア歴史地区だ。ドバイの町の原点であり、建物は海のサンゴ礁を切り出した石灰岩のブロック造で壁を作り、その上に木造屋根を設けている。昼頃に着いたのは有名なメイダン競馬場である。ホテルが併設され、宿泊客は自分の部屋からゆっくりと競馬を楽しめる。このホテルの1階がレストランになっていて、豪華なバイキング料理が昼食だ。ビールを少し飲んでいい気分になりながら、運河の船着場から渡し舟に乗り、スークと呼ばれる市場に着く。ここはスパイス類と金細工を多く売っている。ナツメヤシの干物を少し買う。甘くておいしい。



メイダン競馬場

その後クリークサイドにあるドバイ国立銀行に寄る。夕闇が迫り、私達は市内のグランドハイアットホテルレストランでレバノン料理を食べながら見事な踊り子のベリーダンスを観賞して長い1日は終わった。ねぐらは中級のヒルトンインである。



ドバイ国立銀行

2日目は今回の目玉である世界一の高さ829mのブルジェ・ファリファに行った。人の登れる最上階の展望室は584.5mで世界一。これを超高速エレベーターでわずか1分、揺れもなく着いたことには驚いた。この展望室から



ブルジェ・ファリファ

のドバイ市内の眺めは抜群で、全方向とも大型工事中。まさにこの町が不動産バブルの最中である事に納得出来る。

膨張しつつある都市の景観を直接垣間見た興奮のまま、韓国系のアジアナホテルで昼食を済ませ、市内ビジネス地区にある建築家ザハ・ハデイド設計のオーバスタワーや未来博物館の現場を見学した。夕方になって高さ150m、幅93mの黄金色したドバイフレームにエレベーターで昇る。宵闇にもかかわらず、順番待ちの長蛇の列が続いていた。上に登った頃には辺りは暗闇だった。この日の夕食はクリークの船上レストランでの予定だったが、旅行前から無理をしていて疲れの出た私は一人ホテルで休む。

3日目はドバイを出てアブダビに向かう。今回のもう一つの目玉であるジャン・ヌーベル設計のルーブル・アブダビに着く。なぜこんなところにルーブルがあるのかと疑問だったが、フランス政府と30年契約を結んでいるそうで、オイルマネーの威力は凄い。建物は、明るく開かれた屋根と建物外周に取り込んだ海との対比が新鮮で清潔感がある。一方で展示中身も有名なナポレオンの馬上姿絵や古代エジプト遺産など充実した内容であることに驚かされた。



ルーブル・アブダビ



オーバスタワー



ドバイフレーム

アブダビ市内のホテルで中華の昼食を済ませ、キャピタルゲートタワーにバスで向かう。この建物の傾きは18度で世界一だそう。見るからに施工手間を多大にかけた様子が伺える。建築家あるいは金持ち事業家の果てしない欲望を垣間見る思いだ。

アブダビ最後の見学地は、世界最大級の規模というシェイク・ザイド・グランド・モスク。



キャピタルゲートタワー



シェイク・ザイド・グランド・モスク

イスラムに敬意を払い、見学の女性たちは信者と同じような黒いフードで頭から全身を覆う。ちょうど夕日の落ちる頃で、建物内部の豪華さに驚き、ミナレットを含む外観シルエットの美しさにも感動した。これは東大寺で重源の南大門をつくづく眺めたときのそれと似ている。夜になりアブダビからドバイ市内に戻る。ブルジェ・ハリファの足元にあるレストランで夕食をとりながら、人工池で展開する140mもの噴水ショーを見物して全ての行程を終了し、翌朝早く全員無事に羽田に戻った。



噴水ショー

委員会活動報告

バス見学会『CLTや話題の建築～技術革新を反映させた建築～』

企画委員長 港設計一級建築士事務所 山口 英生

恒例の企画委員会主催によるバス見学会が、去る3月1日に開催されました。今回は会員様とのインタラクティブな繋がりを目指した初の試み「テーマアンケート」に基づき実施されました。見学先はオリンピックの準備でタワークレーンが林立する東京都心で3件選定しました。

①ブリリアランニングスタジアム：構造はRC造+木造+S造で、鉄骨梁+ギャンブル形状のカラマツ集成材フレームを連続させ、ETFE材の膜屋根を留めつけた建築物。シンプルな外観とは裏腹に内部は集成材フレームがダイナミックに連なり、ワクワクする大空間が広がります。構造材露出の大型建築物にもかかわらず堅くなく冷たくないのは、凝ったドットの膜透過による柔らかな光と木材の持つ温かさが、日本人が慣れ親しんでいる障子の感性と似ているからだろうと感じました。



②木材会館：すでに詳細をご存知の方も多い建築物ですが、10年以上前に当時の技術・材料でこの建物が計画されたことに、東京木材間屋協同組合の方と設計者の強い情熱を感じます。先のランニングスタジアムとは異なり、木材の持つ強さが至る所に表現されていました。最後にお願ひして檜の受水槽を見せていただきました。



受水槽

③猿楽十方楼：都心の狭小敷地に建つ複合用途建築物で、土地の持つ歴史を紐解きながら、持てるポテンシャルを丁寧に引き出した計画です。CLT建築物であるという以前に、建築の価値（土地・建物という尺度だけでなく時間や空間、視界や生活、人生までも）を高めるがために複雑に絡み合う動線や構造・用途には感服の至りでした。設計者直々にご説明頂けたのも大好評でした。



終わってみれば、いつものバス見学会後の感覚『若かりし頃の建築に傾けた熱き情熱』を思い出し、明日からちゃんと仕事をしよう(笑)と仰る方の多いこと多いこと。これぞ建築士が建築士のために考えるバス見学会の本望です。最後に、ご参加頂いた会員の皆様と、企画構成に奔走頂いた伊藤委員(座間支部長)、事務局に深く感謝いたします。

新入会員の紹介

2月入会者

横浜支部

有限会社正木建築研究所一級建築士事務所 正木 拓
〒222-0002横浜市港北区師岡町241-11
TEL.045-710-0804 FAX.045-710-0806

3月入会者

横浜支部

一級建築士事務所株式会社直建築設計 宮原 直行
〒231-0002横浜市中区海岸通1-1大榎橋共同ビル303号室
TEL.045-319-6412 FAX.045-319-6413

H N K構造設計一級建築士事務所 小寺 浩
〒221-0053横浜市神奈川区橋本町2-5-3 SE-1203
TEL.045-350-4785 FAX.045-350-4786

リノベ不動産デザインラボ二級建築士事務所 菊地 慎也
〒221-0835横浜市神奈川区鶴屋町1-1-2
TEL.045-565-9755 FAX.045-565-9756

川崎支部

ティーエー設計一級建築士事務所 武入 宏之
〒211-0004川崎市中区新丸子東1-791-3
朝日サンライズ多摩川309号
TEL.044-750-8815 FAX.044-750-8816

藤沢支部

有限会社コボットハウス 小堀 哲郎
〒251-0027藤沢市鶴沼桜が岡1-16-2
TEL.0466-24-5585 FAX.0466-24-3541

白鳥建築設計研究室一級建築士事務所 白鳥 勝彦
〒251-0032藤沢市片瀬5-5-12
TEL.0466-77-0267

退会者

横浜支部

株式会社内田建築設計事務所 内田 勝康
FK環境企画 永光 一正

川崎支部

鈴木建築設計 鈴木 健次
むらた建築設計事務所 村田 實
納谷建築設計事務所 納谷 新

横須賀支部

安田建築設計事務所 安田 孝至
アトリエTA建築設計事務所二級建築士事務所 石川 諒

藤沢支部

エンケルヒューズ一級建築士事務所 南 喜郎

相模原支部

高橋建築設計事務所 高橋 司好

変更

横浜支部

有限会社上原建築設計事務所
(支部変更)旧)川崎支部

株式会社空間設計パートナーズ一級建築士事務所
(事務所所在地、TEL、FAX、支部変更)
〒235-0022横浜市磯子区汐見台2-5-1 A-101
TEL.045-752-5615 FAX.045-752-5615
旧)横須賀支部

株式会社つくし建設一級建築士事務所
(事務所所在地変更)〒231-0032横浜市中区不老町3-12-6下山関内ビル5階

協栄建設株式会社一級建築設計事務所
(事務所所在地、TEL、FAX変更)
〒221-0812横浜市神奈川区平川町26-1
TEL.045-413-6601 FAX.045-413-6602

有限会社石川石材店一級建築士事務所
(事務所所在地変更)〒232-0033横浜市中区中村町4-287-7

株式会社T E R R A デザイン一級建築士事務所
(支部変更)旧)相模原支部

変更

川崎支部

J F Eコンフォーム株式会社
(指定代表者変更)古山 由紀夫

田中建築設計事務所
(事務所所在地、FAX変更)
〒211-0013川崎市中区上平間198
FAX.044-522-0850

ANNE設計工房一級建築士事務所
(事務所所在地変更)〒225-0002横浜市青葉区美しが丘1-13-10吉村ビル107号

相模原支部

東神興業株式会社一級建築士事務所
(事務所名称変更)旧)東神興業株式会社二級建築士事務所

賛助会新入会員

株式会社西洋コンサルティング

会 勢

平成31年4月15日現在

支部名	平成31年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	261	261	0	0	0
川 崎	105	105	0	0	0
横 須 賀	50	50	0	0	0
湘南三浦	18	18	0	0	0
藤 沢	42	42	0	0	0
鎌 倉	40	40	0	0	0
茅ヶ崎寒川	17	17	0	0	0
平 塚	22	22	0	0	0
秦 野	16	16	0	0	0
伊 勢 原	6	6	0	0	0
大和綾瀬	18	18	0	0	0
厚 木	28	28	0	0	0
座 間	15	15	0	0	0
海 老 名	16	16	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	68	68	0	0	0
県 西	41	41	0	0	0
合 計	769	769	0	0	0
賛助会員	102	102	0	0	0

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

品川の運河沿いにある建築倉庫という建築専門のギャラリーを訪れました。「ガウディをはかる」という企画展、ガウディ自身の作品展ではなくガウディ作品をはかり続ける実測家の実測図が作品となっています。静謐な実測図は新たな解釈により新たな形となつて生かされています。彫刻的なイメージの強いガウディの建築ですが、実際には地中海の地域性に強く根付いており、地域特有の強い日差しを遮りながら室内を明るくという理念があったようです。

建築倉庫から品川駅までは水辺に沿ってオフィス、店舗、住まいが程よく混在し、観光地ともまた違う歩く楽しさのある場所でした。写真は建築ではない分野の設計者の撮影ですが、ものづくりの根底は共通するものがあります。(藤沢支部 田代 智子)



かながわ 令和元年5月号(通号420号)

発行 令和元年5月1日(奇数月1日発行)
発行人 白井 勇
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755/FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 西倉 哲夫
・ 広報情報委員長 杉本 勝郎
・ 広報情報副委員長 相原 聡
・ 広報情報委員 雨森 隆子 赤川 真理 小山 将史
・ 田代 智子 田中 敦史 仙波 弦
・ 石川 勝彦 神尾 明美
・ 事務局 久保田 千尋



今月の表紙

みなとみらいの桜

令和元年 最初の「かながわ」をお届けします。思えば昭和から平成へ、20世紀から21世紀へ、そして平成から令和へ。3度も歴史の節目を経験することが出来ました。長い連休明けです。ポ〜っと生きないように戒める今日この頃です。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association